

鹿ノ台川柳教室 五月度句会

五月二十日(月) 鹿ノ台西集会所

席題 「増える」

五十嵐千楽選

家族増え楽しみ悩みまた増える アキラ
 ボーナスが増えた減ったの悩みなし 乃り子
 歳月が増やしてくれた内緒金 登美
 この国の人口増える手だてなし 哲子
 断捨離と言いつつ溜まる文庫本 英二
 利息より増えていきます手数料 充
 増えるのは親切にされ借りばかり えいじ
 人口が減って福祉費増える苦惱 よし尚
 増える夢夫婦の旅路遠い道 宏樹
 腹の虫増えて怒りがおさまらず 勝利
 心配増えて白髪も増える年となる 春代
 人並みに増える白髪の二十代 幸男
 羨しみとしわ増えて体力減ってくる よう子
 軸マンションが空き家のそばにニョキニョキと 千楽

宿題 「ランチ」(連記)

森里えいじ選

お説教料理冷え冷え気もそぞろ 千楽
 友と行ったたまのランチはちよい豪華 春代
 ランチ時何処もかしこも主婦だらけ 登美
 たまのランチ和洋中華でもめている よう子
 いつの間にランチの格差妻と俺 勝利
 ランチする照れて云えない歳になり よし尚
 議員さん狸うどんとむじな丼 ちさと
 ママランチパパはコンビニワンコイン 乃り子
 妻ランチわれ留守番のカップ麺 幸男
 子供の日お子様ランチ大盛で 英二
 ランチ持ち夫婦で憩うハイキング 宏樹
 今日もまた定番ランチ麺づくし 充
 残りもの並べにんまり独り昼 哲子
 盛り合せいより残り物ランチ 正清
 初デートランチをめしと云い掛ける 義雄
 秀弁当は妻の機嫌の丸写し アキラ
 軸ランチまで十人じつと我慢する えいじ

宿題 「流す」(互選)

②夫婦愛水に流して今別居 宏樹
 曲水の宴まねても歌が出ず 充
 苦しみも悩みも流す那智の滝 よう子

心地よく街に流れる新元号 哲子
 聞き流す右から左前と後 幸男
 流されて女のいない島にすむ 正清
 流さない役満狙う意地っぱり えいじ
 流したはずの想い小さな結石に 英二
 ③うそまこと流す涙のいじらしさ 幸男
 ④兄弟の葛藤流す母の通夜 よし尚
 時流れライバル二人酒をくむ よし尚
 汗涙微妙に違う塩辛さ 英二
 ⑤缶ビール腹に流して今日仕舞う アキラ
 耐えたから流した涙愛おしい 哲子
 ⑥聞き流す余裕がなくなぐ夫婦仲 勝利
 流されて根づいた新芽天を指す よう子
 惜しまれるうちに逝きたい流し雛 義雄
 流しても心の蛇口つまってる 正清
 流した筈の悔いがくるくる淀む淵 義雄
 ⑦お人好し流す涙に騙される 勝利

宿題 自由吟 (共選)

坪田登美選

大声で歌えばまるい輪が出来る 義雄
 丑年の妻に引かれて善光寺 充
 好好爺昔のわるを語りだす 義雄
 くしゃみして揺らす法灯伽藍堂 勝利
 吟行の途に古都の偉大さ目の当り 春代
 近未来オファーをしてもアキがない 正清
 点滴に我慢して耐え光みる えいじ
 世界遺産民の町沸く古墳群 宏樹
 飽食にそっぽ向いてる鹿もいる よう子
 ルンルンは桜と同じ三日間 幸男
 桜さりされど賑う佛道 よし尚
 陽春の中金堂に異彩あり 勝利
 肩の荷をすべて下ろして風になる 英二
 何語でもウエルカムです古都の鹿 アキラ
 秀古都の風満ちて脳内活性化 よう子
 軸薫風に足取り軽く古寺めぐり 登美

宿題 自由吟 (共選)

前田幸男選

喜寿過ぎてスマホデビューにほくそ笑む 哲子
 近未来オファーをしてもアキがない 正清
 朝がくるまだ眠れない昼のつけ えいじ
 点滴に我慢して耐え光みる えいじ
 忙しい時を狙って来るライン 英二

肩の荷をすべて下ろして風になる 英二
 丑年の妻に引かれて善光寺 充
 古都の風満ちて脳内活性化 よう子
 桜さりされど賑う佛道 よし尚
 奈良公園想い数々我れ八十路 よし尚
 十連休心の貯金少しだけ 哲子
 飽食にそっぽ向いてる鹿もいる よう子
 秀何語でもウエルカムです古都の鹿 アキラ
 軸ルンルンは桜と同じ三日間 幸男

鹿ノ台川柳教室会員の新聞投句 掲載された句
 (四月十五日〜五月十九日各紙掲載分)

朝日新聞 田中新一選
 四月十八日 題「扉」
 病院のドア悲喜劇をくり返す よう子
 四月二十五日 題「わたし」
 拾われて困るわたしのひとりごと よう子

毎日新聞 山田順啓選
 四月十八日 題「舞台」
 下積みの努力が実り晴れ舞台 勝利

四月二十五日 題「スタート」
 スタートだけで人生決まるわけでない アキラ
 五月十六日 題「ケーキ」
 ショートケーキ買って私の誕生日 よう子

読売新聞 阪本高士選
 四月二十一日 題「再び」
 死の引き金をひく再びの皆無 正清
 五月十九日 題「快」
 快適に過ごす我が家の犬と猫 幸男
 快い風に残酷が似合う 正清

奈良新聞 居谷真理子選

四月十七日 題「なるほど」
 なるほどと言ってる顔の猜疑心 アキラ
 なるほどと相槌打つが聞いてない よう子
 四月二十四日 題「女」
 レディースと書いて姦しいと読ます 正清
 鶯の声聞きたくて甲子園 幸男
 愛嬌をふりまき女まだひとり よう子
 ボーボワール捨てずに傘寿迎えます 英二

五月一日 題「ノート」 幸男
 三日だけ三行だけの日記帳 幸男
 介護ノート律儀な文字で埋めてある よう子
 初恋はノートを貸してくれたひと 英二
 乱雑なノート一番役に立つ アキラ
 五月八日 題「化ける」
 コスメチイックほのかに詐欺の香りする 英二
 鉛筆をころがしマシガンにする 正清
 化け過ぎてホントの自分見失う アキラ
 五月十五日 題「城」
 一城の主毎朝ゴミを出す 英二
 こつこつと築いた城もくたびれる よう子

奈良新聞 自由吟

四月十八日 大楠紀子選
 ダム底にある学舎と大浴暉 正清
 パワハラが愛の鞭だと言う甘え アキラ
 譲られた席ちと淋しくて嬉しくて よう子
 あさよる食前食後くすり漬け 幸男
 五月九日 松本柁子選
 さよならは明日のドアを開ける鍵 よう子
 ぼつかりと空洞のある森にいる 正清
 台本の無い人生を迷いつつ アキラ
 焦点が分からぬままの地方選 幸男
 五月十六日 松本柁子選
 沈黙の城を饒舌に裝飾 正清
 虐待される子供は親を選べない アキラ
 贅肉を削り言葉を和らげる よう子
 だんまりが丸く治めて角立てず 幸男

* 橋正清、林勝利、前田幸男、

三氏は各紙の短歌俳句でも活躍

次回 六月十七日、十二時十五分開場、西集会所

宿題は「声」、「もやもや」、「自由吟」各二句

* 席題 義雄選 十二時三十分お題発表

* 「声」(連記) 充選

* 「もやもや」(互選)

* 自由吟(共選) 英二選 良一選

出句、宿題・席題とも十三時

自治連合会公認クラブ。生駒番傘川柳会のご指導
を得て、日頃の生活を、思うことを、五七五に
句会のご見学、ご入会大歓迎、会費一ヶ月百円

問合せ

原 広子 (79・0061)

野々村詮 (090・6961・1292)